

## 秋田県の骨転移の実態についての調査研究

### 1. 研究の対象

2021年1月1日から2024年12月31日までに秋田大学医学部附属病院でがん治療を受けた方。

### 2. 研究目的・方法

【目的】骨転移の発生頻度や治療についての正確な実態はつかめていません。がん対策基本法の施行以来、がん登録事業が本格化されて、がんの発生頻度に関する疫学的調査にこの情報は利用可能ですが、情報は原発巣に関するものだけで転移病巣については、その有無の記載しかなく、転移部位別の情報は得られていません。また、治療内容についても、その詳細は不明です。そこで、まず秋田県の骨転移の実態について調査し、骨転移診療ガイドラインの改訂前後での診療アウトカムの変化を調査します。

【方法】秋田大学医学部附属病院の診療録を用いて実態調査を行います。

研究実施期間：研究実施許可日～2025年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、年齢、性別、病歴、原発巣、骨転移の部位と概数、原発巣の治療内容（手術、放射線、化学療法、緩和ケア）、骨転移の治療方法（手術、装具、放射線、骨修飾薬、疼痛緩和、リハビリテーション）等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543

秋田市本道 1-1-1

018-884-6261

臨床腫瘍学講座 教授 柴田 浩行

研究責任者：

秋田大学医学系研究科 臨床腫瘍学講座 篠崎 英恵

-----以上